



甲斐小百合さん
(古神3区、写真左)
森下幸美さん
(西1区)



地域の憩いの場つくってもうすぐ15年。今月は、一度の食事でプラスα!のアイデアで、楽しく地域づくりに取り組む甲斐さんと森下さんをご紹介します。

「野の花のようにはつと
びきる場所」

お二人は、阿蘇神社のそばで毎週金曜日だけ開かれる店「のはな」のオーナー。この店は、いろんな工夫で、憩いの場ともなる、社会奉仕もできる、お腹もヘルシーに満たされるなど、女性なら一度は行ってみたいお店です。場所も民家を

お借りしアットホームな雰囲気
で皆さんをお迎えしています。「
はな」での食事は、草原再生シ
ル野菜や地元農家の有機野菜な
どを使った体にいい料理が主流。
手づくり料理が5〜6品付いた
ランチセットがなんと500円
でいただけます。さらに、その食
事代の一部を社会福祉に寄付す
るというシステムで、毎月、「の
はな」は社会福祉協議会に寄付
されています。食事して社会奉
仕できるシステムは、心も体も
温まる優しい取り組みです。

「のはな」のつとま

普段は主婦業や仕事をされて
いるお二人が地域づくり奉仕の
ため、週に一度店を開き始めた
のは15年前。町内の主婦が集ま
り「町の真ん中に、皆が集まって
楽しめる場所があるとよかねー
誰か作らんどか…。人に頼んで
も無理、私たちがやってみよう!」
と、当時6人で「のはなの会」を
設立。店の開店とともに、阿蘇神
社前でのコンサート開催などに
も取り組み地域に元気を与えて

「友達をつくるもよし
情報発信の場としても」

きました。現在は、引越しや仕事
の都合で来れなくなったメンバ
ーが出て2名で活動。大変でし
よう?と伺うと、「できたしこで
す(笑)。だから週に一回。自分た
ちが楽しんでやってるから継続
できています。何より、利用して
くださる方々がたくさんいるの
でやりがいを感じています」と
お二人。普通の飲食店ではない
ため会員制の仕組み。会員数は
1,600人を超えています。

お店には、素敵な音楽が流れ、
民家の一室を利用した食事処は
くつろぎの場所。毎週金曜日の
お昼から3時過ぎまで開業して
いるのでゆつくり過ごせます。「子
ども連れの若いお母さんたちの
集いの場にしてほしい」と先輩
ママのお二人。

お茶と手づくりお菓子もあり
ますので喫茶感覚でもOK。ぜひ、
ご利用ください。情報発信したい
方も資料を置くなど協力されて
います。



▲突然おじゃました日のランチは、
地鶏の炊き込み飯、にゅう麺汁、
瓜と豚肉とアゲの煮浸し、にんじ
んのキンピラ、大根とハムのサラダ、
煮豆、ナスのからし漬けでした。



▲「のはな」での食事風景

